(1) 事業の概要

滋賀県病院事業では、高度専門医療を提供し、県民の健康増進と保健福祉の向上を図るため、次の3病院を運営しています。

	病	院	名		診療開始	診療科	病 床 数	建物延面積
総	合	y	丙	院	昭和 51 年 4 月	33科	535床	73,482.54 m ²
小り	見保健	医療	センタ	ター	昭和 63 年 4 月	9科	100床	9,444.42 m ²
精	神医	寮 セ	ンゟ	7 —	平成 4 年 9 月	4科	123床	10,675.87 m ²

○患者の利用状況

令和5年度における県立3 病院の利用実績(患者延数)は、入院が186,527 人、外来が270,670 人で、前年度に比べて、入院は7,986 人の増加、外来は3,281 人の増加となりました。 なお、各病院の近年の利用状況は、次のとおりです。

●患者数

		□ □		/\		令和3	3年度	令和∠	1年度	令和5	5年度			
		X		分		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期			
				入	患者延数	66,376	67,749	64,944	67,944	65,862	72,713			
総	合	æ	院	院	1日平均	362.7	372.2	354.9	373.3	359.9	397.3			
心作		病	杌	外	患者延数	96,728	98,976	100,720	100,326	100,813	101,468			
				来	1日平均	792.9	824.8	818.9	836.1	813.0	852.7			
				入	患者延数	8,662	8,498	7,985	7,779	8,335	8,921			
小儿	児保	健医	医療	뺤	1日平均	47.3	46.7	43.6	42.7	45.5	48.7			
セ	2 ン 2	タ	J	外	患者延数	21,125	20,633	21,377	21,633	22,660	22,334			
				来	1日平均	173.2	171.9	173.8	180.3	182.7	187.7			
				入	患者延数	15,001	15,446	15,253	14,636	14,803	15,893			
精	神	医	療	療	療	療	院	1日平均	82.0	84.9	83.3	80.4	80.9	86.8
セ	ン	タ	J	外	患者延数	11,870	11,698	11,788	11,545	11,874	11,521			
				来	1日平均	97.3	97.5	95.8	96.2	95.8	96.8			
				入	患者延数	90,039	91,693	88,182	90,359	89,000	97,527			
	合	=1		뺤	1日平均	492.0	503.8	481.9	496.5	486.3	532.9			
		計		外	患者延数	129,723	131,307	133,885	133,504	135,347	135,323			
				来	1日平均	1,063.3	1,094.2	1,088.5	1,112.5	1,091.5	1,137.2			

〇建設改良の状況

総合病院において空調設備等改修工事および放射線治療棟の再整備工事を進めるとともに、医療の高度 化に対応するため、県立3病院において医療機器の整備等を行いました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和6年2月定例会議において、事業収益については、入院収益の減少や新型コロナウイルス感染症入院病床確保支援事業費補助金の受給が縮小したことなどから1,228,087千円減額補正し、事業費用については、給与費や材料費等の増加により464,123千円増額補正しました。また、資本的収入を160,956千円、資本的支出を204,716千円それぞれ減額補正しました。

〇令和5年度予算の執行状況

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの予算の執行状況は次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

	VIII 19/1/2 (000 / C	<u> </u>					(-	113/
	科目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額		予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
Η.								
犯	院事業収益	26,899,000	_	Δ	1,605,910	25,293,090	25,247,323	99.8
	医 業 収 益	21,319,864	_	\triangle	1,122,932	20,196,932	20,131,751	99.7
	医業外収益	5,361,136	_	Δ	477,425	4,883,711	4,901,433	100.4
	附帯事業収益	218,000	_	Δ	5,553	212,447	214,139	100.8
疗	院事業費用	26,230,100	_		647,397	26,877,497	26,020,541	96.8
	医業費用	25,319,814	_		630,256	25,950,070	25,152,889	96.9
	医業外費用	692,286	_		22,694	714,980	661,875	92.6
	附帯事業費用	218,000	_	Δ	5,553	212,447	205,777	96.9

●資本的収入および支出

(単位 千円)

	ŦΝ	B		当初予算額	前年度からの繰越	2本7	E予算額	マ帝IB恕(∧)	執行額(B)	(B)/(A)
	科	E	1	当彻了异创	(財源充当)額	們」	工了异创	予算現額(A)	(ロ) 対合し「NKギ	%
資	本	的 収	入	2,723,900	831,700	\triangle	160,956	3,394,644	2,877,644	84.8
	企	業	債	2,690,800	831,700	\leq	159,700	3,362,800	2,847,800	84.7
	負	担	金	33,100		\triangle	3,256	29,844	29,844	100.0
	諸	収	入	_			2,000	2,000	1	_
資	本	的 支	出	5,004,300	833,078	\leq	204,716	5,632,662	5,118,804	90.9
	建訁	0 改良	費	2,808,974	833,078	\triangle	163,138	3,478,914	2,965,058	85.2
	企業	美債償還	量金	2,195,326	_	\triangle	41,578	2,153,748	2,153,746	100.0

⁽注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補塡しました。

〇企業債の状況

令和6年3月31日現在の企業債の現在高は、23,202,396千円です。

〇決算の状況

①損益収支

事業収益は、医業外収益の減少により対前年度比 4.8%減少の 25,195,606 千円となりました。一方、事業費用は、医業費用の増加により対前年度比 4.9%増加の 25,975,718 千円となりました。この結果、当年度純利益は、前年度より 2,474,070 千円減少し、 △780,112 千円となりました。

●比較損益計算書 (単位 千円)

	∓N	0			今和5年度(∧)	今和 4 年度(D)		比較増	創 減	
	科目			令和5年度(A)	令和4年度(B)	(Д	Y) — (B)	(A)/(I	B) %	
事	業	Щ.	7	益	25,195,606	26,463,276	Δ	1,267,670		95.2
	医	業	収	益	20,100,984	18,604,921		1,496,063		108.0
	医 業	外	収	益	4,880,515	7,648,980	Δ	2,768,465		63.8
	附帯	事業	€ 収	益	214,107	209,375		4,732		102.3
事	業	乽		用	25,975,718	24,769,318		1,206,400		104.9
	医	業	費	用	24,489,769	23,209,832		1,279,937		105.5
	医 業	外	費	用	1,280,162	1,356,068	\triangle	75,906		94.4
	附帯	事業	美 費	用	205,787	203,418		2,369		101.2
当	年度純	利益(△は損	失)	△ 780,112	1,693,958	Δ	2,474,070	Δ	46.1

②財務状況

令和5年度末の総資産は、固定資産の増加等により前年度より 350,894 千円 (0.9%) 増加して 40,114,205 千円となり、負債は固定負債の増加等により 1,131,006 千円 (3.4%) 増加して 34,018,474 千円となりました。また、資本は 780,112 千円 (11.3%) 減少し、6,095,731 千円 となりました。

●比較貸借対照表 (単位 千円)

	資	産	の	部		負債および資本の部					
科目	令和5年	度	令和4年	度	比較增減	科目	令和5年度	令和4年度	比較増減		
固定資産	31,439,	372	30,446,	.888	992,484	固定負債	25,728,598	24,804,383	924,215		
流動資産	8,674,	833	9,316,	.423	△ 641,590	流動負債	6,229,406	5,864,322	365,084		
						繰延収益	2,060,470	2,218,763	△ 158,293		
						負債合計	34,018,474	32,887,468	1,131,006		
						資本金	16,415,091	16,415,091			
						剰余金	△ 10,319,360	△ 9,539,248	△ 780,112		
						資本合計	6,095,731	6,875,843	△ 780,112		
合計	40,114,	205	39,763,	.311	350,894	合計	40,114,205	39,763,311	350,894		

(3) 令和6年度の事業および予算の概要

令和6年度は、総務省の「公立病院経営強化ガイドライン」や病院統合を見据えた取組を反映した「第五次県立病院中期計画(改定版)」の初年度であり、理念に掲げる『命と健康を守り、県民に信頼される病院』を目指し、「医療機能の充実」と「経営の健全化」に向けた取組を着実に推進し、「健康しが」の実現に貢献していきます。

また、令和7年1月に予定している総合病院と小児保健医療センターの統合を円滑に実施するとともに、その効果が最大限に発揮できるよう努めます。

総合病院では、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で先進的な治療を提供し、がん診療の充実に取り組みます。さらに、高度急性期医療を担うための体制と施設整備を推進し、専門性の高い医療人材の育成、輩出を目指すほか、周辺病院への職員派遣や人材交流、合同研修等により地域全体の人材確保に貢献します。また、県の子ども政策、新興感染症への備えや災害医療の強化等の政策医療を積極的に展開していきます。一方、臨床研究センターでは、近隣大学等と連携し、県民の健康確保のための臨床研究に取り組みます。

小児保健医療センターでは、一般病院では対応が困難な障害児医療や難治・慢性疾患を中心に全県型の高度専門的医療を継続的に提供するとともに、病院統合を契機とした子どもから大人まで切れ目のない医療を提供するための体制整備を図ります。

精神医療センターでは、精神医療の拠点病院として、アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症治療や児童・思春期精神障害医療の推進を図るとともに、医療観察法病棟において対象者の治療および社会復帰支援を担います。また、「精神科専門医研修施設群基幹施設」の認定を受けたことから、精神科専攻医の研修受入を推進し、精神医療センターの診療体制の充実に繋げます。

〇令和6年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金 額		左 の	内 訳	
赤人	块	金額	総合病院	小児保健医療センター	精神医療センター	経営管理課
病院事業収益		27,462,800	21,518,300	3,715,400	2,124,700	104,400
	医業収益	22,825,299	18,728,801	2,622,152	1,372,671	101,675
	医業外収益	4,403,501	2,789,499	859,248	752,029	2,725
	附帯事業収益	234,000	_	234,000		_
病院事業費用		27,775,300	21,710,700	3,711,300	2,248,900	104,400
	医業費用	26,783,187	21,022,612	3,431,032	2,225,143	104,400
	医業外費用	758,113	688,088	46,268	23,757	_
	附帯事業費用	234,000	_	234,000	_	_

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	ॉ百		項		巧		否		ाठ		額			左	の	内	訳	
汞≮		垻		金	蝕	総合	病院	小児保験	医療炒	精神医	療センター	経営管理課						
資本的収入				4,	724,000	4,	522,800		61,800		139,400	_						
	企	業	債	4,	676,500	4,	498,000		39,700		138,800	_						
	補 助 金		150			150		_		_	_							
	負	担	金		47,350		24,650		22,100		600	_						
資本的支出				7,0	001,700	6,	645,600		132,500		223,600	_						
	建設改良費			4,	793,941	4,.	587,393		66,450		140,098	_						
	企業	美 債償	還金	2,	207,759	2,0	058,207		66,050		83,502	_						

⁽注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補塡します。